



# ロシアNIS経済速報

一般社団法人 ロシアNIS貿易会

2019年(平成31年)2月15日号 No.1784

## 目次

■ 2018年のロシア経済と鉱工業生産 .....	1
■ 統計速報 .....	6
2019年1月のロシアのブランド別乗用車販売台数/6	
■ キーパーソン .....	7
新設のウズベク投資・対外貿易省にウムルザコフ大臣/7	
■ トピックス .....	7
三井住友海上がロシア損保大手と提携/7	
みずほ銀行がモンゴル国家開発庁と協力覚書/8	
プライメタルズが高炉システム等を受注/8	

## 2018年のロシア経済と鉱工業生産

### はじめに

ロシア連邦国家統計局より2018年のロシアの主要経済指標が発表されたので、本速報ではそれらを図表にまとめてお届けする。鉱工業生産については特に詳しく紹介していく。なお、2018年のロシアの貿易統計に関しては、ロシア連邦関税局のデータに基づき、後日より詳しくお伝えする予定である。

2019年2月4日にロシア連邦国家統計局が発表した速報推計値によると(図表1)、2018年のロシアのGDP成長率は前年比2.3%増となり、2013年以降の最高値を記録した。経済発展省の予測(1.8%増)やロシア中央銀行の予測(1.5~2%増)を超えた2018年のGDP成長率について、経済発展省は「多くの単発的要因に起因しており不安定なもの」とコメントしている。また、オレシキン経済発展大臣はヴェードモスチのインタビューで、「明快な肯定的結論を出すのはまだ早い」と述べた。成長に主な影響を与えたのは鉱業や卸・小売、輸送・保管、金融、建設分野等とされる。

鉱工業部門の生産指数では(図表3)、鉱業は前年比で4.1%、製造業は2.6%増加し、鉱工業全体で2.9%の増加となった。品目別の内訳をみると(図表4)、天然ガスや石炭、化学分野、工作機械、乗用車、バス、鉄道貨車などで成長がみられ、全体的に多くの品目で生産が増加した。

2018年の鉱工業生産を連邦管区別・地域別に見てみると(図表5)、地域別データではヤマロ・ネネツ自治管区が大きな伸びを示した。なお、プリヤート共和国とザバイカル地方は2018年11月にシベリア連邦管区から極東連邦管区に転籍しているため、両地域の2018年11月以降の数値は極東連邦管区としてカウントされている。